

## 各専門部会等取組状況報告書

専門部会名	福祉サービス支援部会
担当する「ながふく障がい者プラン」の重点施策	① グループホーム整備への支援
	② グループホームの体験利用の促進
	③ 移動支援の支援員の人材育成
協議内容	<p>平成30年度下半期については、①については、市内にて3か所のグループホームの整備がなされた。しかしながら、実際的に長久手市内に必要な整備目標を拠点の個所数ではなく、希望人員ベースでの把握が必要として、ニーズ調査を実施した。②グループホームの体験利用の促進については、今年度以内の実施に向けて作業部会にて要綱整備を行った。③移動支援の支援員の人材育成について毎月作業部会を開催し、9月の4日間において移動支援従事者養成研修を実施した。</p> <p>〈協議してきた内容〉</p> <p>①グループホームの整備については、希望人員ベースのニーズ調査方法として次のように考え実施した。すでに「ながふく障がい者プラン」におけるアンケート調査の実施にともない、本人、利用者家族のグループホーム希望者数は確定している。しかしながら、この5か年以内の直近以内で必要とされる人員のニーズがわからないため、市内における相談支援事業所の所属している相談支援専門員のアンケート調査を実施した。結果として約39名分・6ユニット(6～7人のグループホームと仮定した場合)の整備が必要との結果が現れた。(別紙1のとおり)</p> <p>②グループホームの体験利用の促進 障がい者が将来、地域で自立した生活を送ることができるよう、実際に家族と離れて地域生活を体験することで生活するための力を養い自立意欲を高める支援を行うことを目的とした「グループホームを活用した地域生活体験事業」について別紙2 概要案の内容について協議し承認をいただいた。今後については、市にて事業実施に向けた事業所等との調整等を実施予定である。</p> <p>③移動支援の支援員の人材育成 移動支援事業に従事する従事者を養成することを主とした目的として、「長久手市移動支援事業従事者研修」を試行した(平成30年9月に継続研修4日間)。市内の事業者と基幹相談支援センター、福祉課の協力により、Nーバス、リニモなどを活用し、実際の移動支援の模擬訓練までを行っている。受講生や実施に従事したスタッフからは、長久手市の移動支援を充実していきたいとの意見が活発に交わされた。</p>
今後の課題、取組	<p>平成30年度の福祉サービス部会は、大きな課題目標を達成し、長久手市の障がい福祉の向上に寄与することができたと思われる。これは、福祉課職員、子育て支援課職員、基幹相談支援センター相談員、多数の福祉サービス事業者の活発な意見交換や協力によって達成できたものといえる。平成31年度は、これらの制度が適切に実行できたかモニタリング(様子を観察し適宜評価)し、課題を修正しつつ、長久手市独自の制度として定着できるよう取り組んでいきたい。</p>

所属	特定非営利活動法人百千鳥
部会長	竹田 晴幸